



江野 麻由子さん
(秋田南高1年)

祝 ソチ2014パラリンピック冬季競技大会出場 がんばれ! 江野 麻由子選手

大館市出身の江野選手は、距離競技・座位の部に出場します。日本選手団中最年少で、秋田県からはただ一人の選出です。江野選手は「大館は大切なふるさと。持てる力を存分に発揮し、頑張ってきます」とコメント。市民に夢と希望を与える素晴らしい活躍を期待しています。

比内とりの市

(1月25、26日)

今年で30回目の比内地域の冬の風物詩「比内とりの市」が、比内グランドで行われました。2日間で、市内外から約3万6千人が訪れ、昨年の来場者数を大きく上回りました。毎年恒例の「比内地鶏かやき鍋」や「比内地鶏千羽焼き」は今年も大人気で長蛇の列。比内鶏の鳴き真似の声の長さを競う永唱大会には、雪国体験モーターの参加者が飛び入りで出場し、大会を盛り上げました。初日の夜には、30回を記念してイルミネーションなども行われ、訪れた人たちは地元バンドの演奏とともに楽しんでいました。



コケッココ...

市民スキー大会

(2月2日)

「第58回大館市民スキー大会」が開催され、参加した選手たちは、雨の降る悪条件の中で熱戦を繰り広げました。樹海ドーム語らいの森では距離競技が行われ、家族やチームメイトらの大きな声援を受けた選手達が懸命な走りを見せていました。また、大滝温泉スキー場では、大回転競技とスノーボード競技が行われ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮して、好タイムを狙って速さを競いました。



合同歳祝い

(2月1日)

厄年の災いを払い、福に転じさせる伝統行事「合同歳祝い会」が市内の各地で行われました。

大館地区の歳祝い会場には、数え年で42歳になる男性と33歳になる女性が一堂に会し、神事を行い厄を払いました。

神事の後は、久しぶりに再会した旧友と、人生の節目を祝い合いました。

全員で三本締め



アメッコ市

(2月8、9日)

400年の歴史を持つ大館の冬の風物詩「大館アメッコ市」が開催されました。

この日にアメを食べると風邪をひかないと伝えられ、訪れた大勢のお客さんは、主会場のおおまち八丁公通りで色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通って、風邪封じのアメを買い求めていました。

会場では、からみアメのサービスや白髭大神巡行などが行われ、来場客を楽しませていました。



枝アメ作り体験

